

文部時報

第五百五十五號 目次

卷頭 (格言三則).....

學務部長會議に於ける訓示 (要領)..... 文部大臣 平生鈞三郎..... 二

改正學校體操教授要目に就て..... 文部大臣官房體
育課長醫學博士 岩原 拓..... 五

國民精神文化研究所概觀..... 國民精神文化
研究所長 關屋龍吉..... 九

科學博物館の使命に就て..... 東京科學博物館
學藝官 丸茂忠雄..... 一二

最近の獨逸に於ける青年運動 (二)..... 海軍造兵中將 伍堂卓雄..... 一九

復命書

文部省視學委員復命書抄

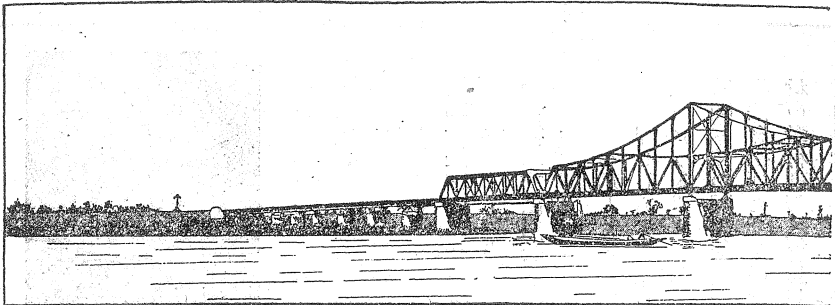
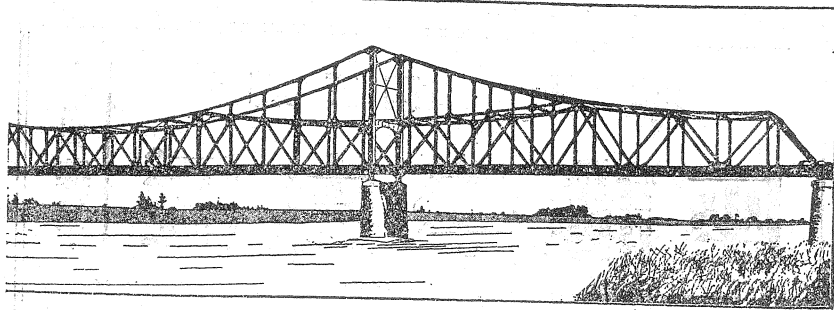
英語.....

文部省視學委員第八高等學校教授 野崎勝太郎..... 二九

農山漁村に於ける學校の實際

我が郷土に立脚したる本校經營の實際.....

鹿兒島縣始良郡國分
尋常高等小學校校長 永田純藏..... 三二



勅令..... 勅令第二百二十二號(文部省直轄諸學校職員定員令中改正)..... 四七

省令..... 文部省令第十二號(計理士法施行令第五條受験資格ニ關スル件中改正)・文部省令第一號
(船舶氣象觀測報告規則改正)..... 四七

告示

..... 文部省告示第二百五十一號(師範學校中學校高等女學校教員無試験檢定許可學校中胸澤大
學專門部高等師範科ノ項改正)・同第二百五十二號(同上國士館專門學校ノ項改正)・同第二
百五十三號(實業學校教員無試験檢定許可學校及檢定學科目日本大學專門部外三校ニ係
ル分追加)・同第二百五十四號(國實所有者變更)・同第二百五十五號(カリナン日本人尋常
小學校、マナンプラン日本人尋常小學校及ラサン日本人尋常小學校恩給法指定)・同第二
百五十六號(愛知縣明倫夜間中學校卒業者專門學校入學者檢定規程ニ依ル學力指定)・同第
二百五十七號(師範學校中學校高等女學校教員無試験檢定許可學校中青山學院外一校ノ項
改正)・同第二百五十八號(同上日本大學專門部ノ項改正)・同第二百五十九號(實業學校教員
無試験檢定許可學校及檢定學科目中關西大學專門部第一部商業學科ニ係ル分追加)・同第二
百六十號(南洋拓殖練習生要項)・同第二百六十一號(實業學校教員無試験檢定許可學校及檢
定科目中明治大學專門部ノ項改正)・同第二百六十二號(私立立教高等女學校設立者變更認
可)・同第二百六十三號(金澤市ニ開催ノ家庭教育指導者講習會要項)・同第二百六十四號(昭
和十一年第二回專門學校入學者試驗檢定施行)・同第二百六十六號(國實所有者變更)・同第二
百六十七號(高等學校高等科教員試驗檢定施行)・同第二百六十八號(國實所有者變更)・同第二
百六十九號(滋賀縣淡海高等女學校設立者變更認可)・正誤..... 四七

兼任及辭令 (自昭和十一年六月二十一日至同六月三十日公表ノ分等)..... 五二

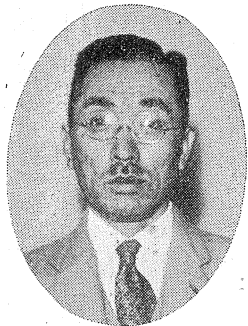
彙報

拜謁 高等師範學校校長會議 高等學校校長會議 實業專門學校校長會議 道府縣學務
部長會議 京都帝國大學講師囑託 大阪帝國大學理學部講習生募集 神戸商業大學
聽講生募集 帝國學士院總會及部會 文部省主催夏季講習會要項 實業學校校長等認
可 檢定教科用圖書 臨時ローマ字調查會總會 帝國圖書館閱覽人員 圖書推
薦 高等學校高等科教員試驗檢定出願者注意 臨濟宗妙心寺派綱目中改正等 法人
設立許可 休職 退職 死去..... 六一

文教問答

昭和九年度文部統計摘要(一).....

文部大臣官房文書課..... 八六



科學博物館の使命に就て

東京科學博物館學藝官 丸茂忠雄

社會教育と博物館

近年社會教育の機運勃然として起り、青少年の教育はもとより成人教育に至る迄社會各般の施設が實施され、實に外貌は燦然たるものがある。然しながら社會教育の根幹たる博物館圖書館の現状を視ては忸怩たらざるを得ない。此二つは鳥の兩翼車の兩輪で、是れなくして何の社會教育かなと言ひたい位である。されば歐米先進國に於ける此種事業に力を致す事は驚歎に値するものがある。

彼の獨逸ミューンヘンにある獨逸博物館は歐洲大戰當時國を擧げて外敵に當りつゝあるの秋獨り此の建設は繼續され大戰終了の翌年立派に開館の運びに至りしが如き、倫敦の大英博物館の年々百萬圓以上の巨費を計上して益々内容の充實と使命の發揮に努めてゐるが如き、吾人此種事業に従事するものの羨望の的

である。實に此の二つは世界博物館の双璧であつて、民衆の科學産業に關する知識を賦與する上に絶大の役割を演じ、世界文運の發達に貢獻する處蓋し偉大なるものがある。従つて歐米各國共博物館の普及發達驚くべきものがあり、獨の千六百英の五百米の千五百佛の六百の如き、我國の僅に五指を屈するに足らざる貧弱さに比べて、其相違の餘りに大なるに驚くのはない。幸ひ圖書館事業は近年急速の進歩を遂げ、殆ど全國に普及し、數に於ても内容に於ても相當見るべきものがあるが、我博物館事業の如きは數に於て既に然り、内容に至つては全く問題外であると云ふても敢へて過言ではない。

博物館事業不振の理由

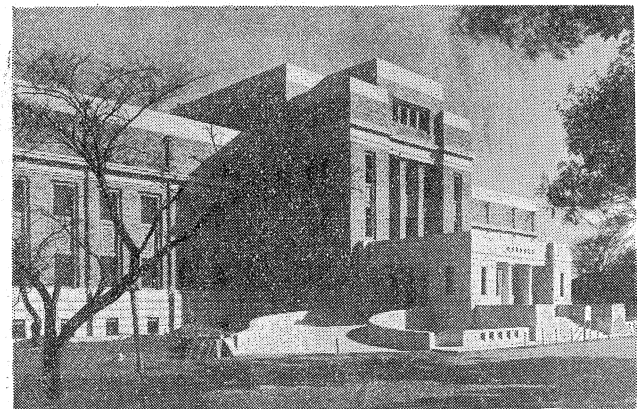
我國教育施設の內故獨り博物館事業の斯く迄遅れたるか、是れは色々の原因あらんが、官民共に博物館事業に對し認識の

足らざるを以て、一大原因に期せねばならぬ。

抑も我國博物館の發達を回顧するに、専ら歴史美術を中心とする東京、京都、奈良の皇室博物館があつて觀覽の中心をなしてゐた結果、博物館と謂へば、古代の歴史美術の陳列館の如く思惟するに至れるを以て、科學博物館の如きは、眞の博物館では無い様に思つてゐるものが多い。成程鎧兜や刀劍類の陳列を以て博物館の全部とするならば澤山の數も又必要ないのである。

教育的博物館の内容

茲に述べむとするのは人生生活に直接の關係を持ち一國の産業の基礎となる科學方面に關する知識を一般民衆に普及する教育的の博物館に就てである。



東京科學博物館全景

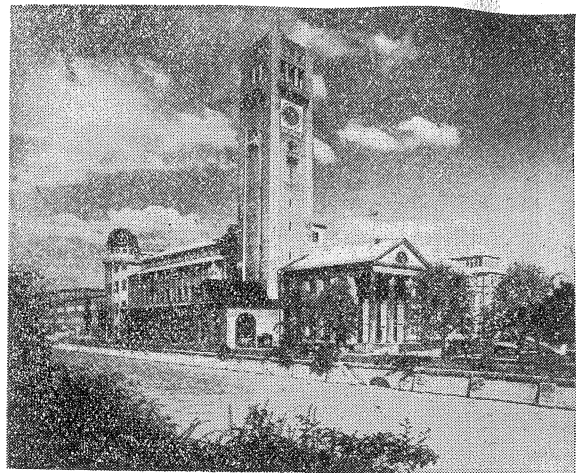
一體此種博物館の目的は科學知識の普及發達に資すると共に學者専門家の研究に便し、他方發明發見を助くるにあるを以て、只單に動植物の如き自然科學に關する各種の標本理工學産業等に屬する機械模型の類を一堂に陳列し、座して來觀者

を待つのみでは是れは博物館使命の一部に過ぎない。講演會講習會等によつて、日進月歩の新學說、新研究の紹介指導に努めね

ばならぬ。又一般の陳列標本の外に學術的價值あるものを多數蒐集して、學者篤志者の研究に資すべく用意せねばならぬ。大學専門學校の標本室が一般民衆に自由に公開されてゐない現状に於ては、特に力を致さねばならぬ點である。然しながら今直に如斯内容を持つ博物館を全國に普及するの必要を唱ふるのではない。

中央と地方とによつて博物館の使命にも自ら多少の差がある、中央のは一國を代表して國際的使命を有するものであるから、出来るだけ規模も宏大に内容も充實して、博物館を一巡すれば其國文化の進展如何を想察せしむるに足るだけの施設と經營が必要である。海外諸國に於ては此の事業は相當重視せられ、大學と肩を並べて何等遜色なき權威を持ち待遇を受けてゐる。斯る考を持つ外國人が來航して

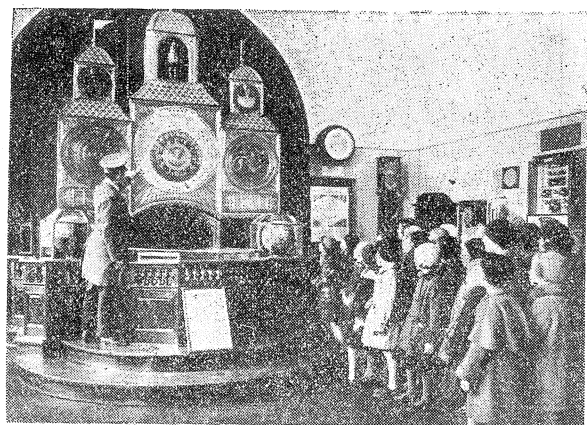
博物館を視察した場合、もしそれが貧弱見るに堪へないものであつたなら、彼等の失望は如何ばかりか、又我國文化に對する疑問と輕視の念を起さしむるは當然である。是れに反して地方博物館は徒に規模の大を望むものではない。よく其地方を代表する標本類の蒐集を第一とし、産業の情勢や重要工業の製造順序原理等を會得せしむるに足る程度の展示をするだけにて結構である。



景全館物博逸獨ンヘンユミ

博物館經營の困難

博物館は今尙一般的には閑事業であるかの如く思惟せられて



(室計時)部一の室列陳館物博逸獨ンヘンユミ

る時代であるから、是れが經營宜しきを得ないと、必要視される恐れがある。今後の此種博物館の經營は、民衆生活に關係深き科學其他の知識の普遍化に頗る有効適切なものであることを充分に徹底せしめる上に、特別の工夫と異常の努力とが肝要である。若し此點に成功するならば、其繁榮疑なく、時代と共に發展擴大せらるると思ふのである。

由來博物館なるものは博覽會や、展覽會の如く、時と共に變化し、陳列場面を新にして行く事は容易のものではない。陳列品が貴重標本にして他に類例のない様なものなれば、夫れた

け固定して動かぬ性質を持つものであるから、博物館を生かして行くには、そこに工夫が必要である。即ち常に館外に呼びかけ、學校生徒兒童や民衆をして斷へず博物館に關心を持たせて行かねばならぬ。従つて陳列館以外の活動、即ち講演會、講習會から活動寫真映寫、其時に應じての展覽會、各種のバンフレットの發行等各種多様の計畫を凝らさねばならぬ。

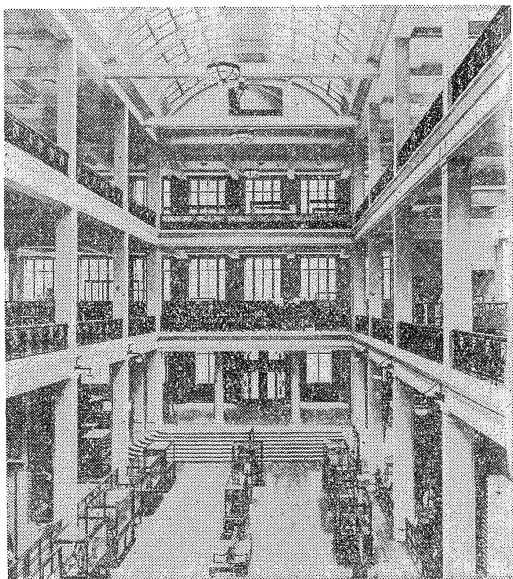
博物館促進の方法

擬て如何に國家社會にとつて有用のものであつても、事苟も經費に關係ある限り急激の發達は望めない。

歐米に於ける博物館事業が今日の隆盛をみるのも、決して一朝一夕に出來たことではない、長い間の努力の結晶である。それが證據には、獨逸博物館にしても大英博物館にしても、増築に増築を重ねて漸く今日の大をなした事が一見して窺はれる。

自分は一昨年秋マドリートの萬國博物館會議に出席の歸途、

科學博物館の使命に就て



部一の室列陳館物博英大

歐洲大陸に博物館見學旅行を試みた。其際何處の博物館をみて、規模の大小こそあれ、標本の整理が行き届き、所藏點數の豊富なるに羨望の目をみはつたものだ。例へば鳥の嘴の研究者の爲めには、あらゆる嘴の種類が一堂に網羅され、又他の一室には鳥の足が蒐集せられてゐるが如きである。然し建築物や其他から押して、是れは永年に亘つて今日の完成を見たもので、博物館は

暖簾が古くなければ駄目で、日本の博物館事業は是れからだとの感を深くした。

學校は標本室を開放して博物館に改造し、學校博物館を造り、都市に於ける各種の記念事業には先づ博物館の設立を決定する。篤志家は先づ博物館の爲めに寄附をする。また大博覽會等の開催に際し

ては、近頃流行することであるが、その科學館等の建物を終了後永久の博物館に改造するなど、官民一致此事業の促進に勤めたならば、幾年をも經ずして歐米のそれに遜色なき日の至るの

を信じて疑はない。

今簡単に我科
學博物館の概況
を述べて参考に
供したいと思
ふ。

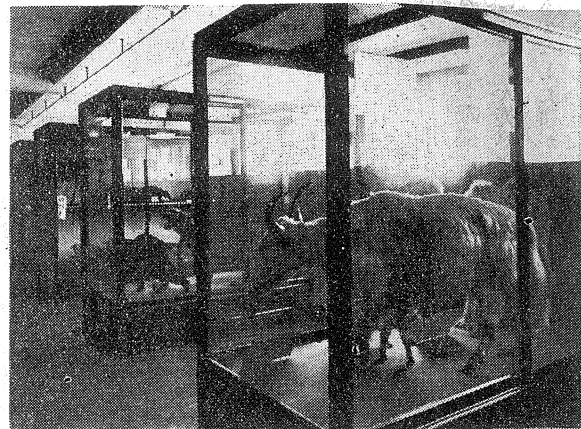
○東京科學

博物館

明治五年三月

本郷湯島大成殿
に觀覽所を設
け、公開して公
衆の觀覽を許
し、四月 天皇

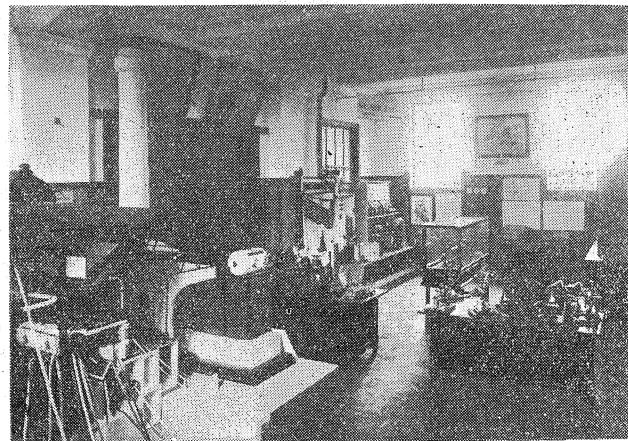
陛下博物館に御臨幸あらせらる、是れ我國博物館の濫觴にして、
爾來星霜六十年、幾變遷を経て、昭和六年上野公園内に鐵骨鐵
筋コンクリート三階建延坪數二千五百餘坪工費二百萬圓を以て
雄姿を現し、十餘萬點の標本を展覽し、十一月 天皇 皇后兩
陛下の行幸啓を仰ぎ、はなばなしく開館するに至つて博物館史



部一の列陳部學物動館物博學科京東

上に一線を劃した次第である。

現在陳列部門を動物學部植物學部地學部理工學部工業部產業
部の六部門に分ち、自然科學に屬する部門は生態的陳列を主と
し、理工學方面は實驗實演に重點を置き、觀者自らをして研究



部一の列陳部學工理館物博學科京東

發見工夫を凝ら
すに便し、尙學
者、特別研究者
のために昆蟲
室、介殼室、骨
室、内外礦物室、
菌蕈類室を設
け、個人にして
一定期間研究調
査の希望者には
適宜解放する事
になつてゐる。
又毎土曜日には
各部門毎に特別
説明を現場に於
て試み、三十人

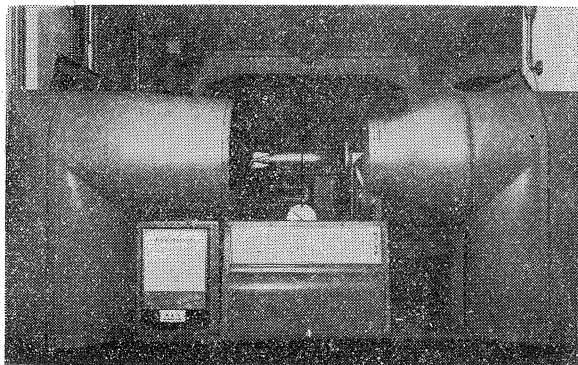
を限り聽講を許し、

且つ陳列品に關係あ
る活動寫眞の映寫を
なし、特殊の機械裝
置例へばエックス光
線、オシログラフ、テ
レビジョンの如きは

毎日午前一回午後二
同時を定めて館員が
實驗説明を行ひ、天
體天文鏡は毎週水土
の兩日夜間の觀測を
許し、附屬の科學專
門の圖書館があつ
て、陳列品に就ての
調査研究に利用せし



(石化)部一の列陳部學地館物博學科京東



驗實洞風型小部學工理館物博學科京東
(得をとこす出迄米二十速風てしに用明說理原翔飛機空航)

室裝置があつて活動寫眞の映寫も自由である。所藏映畫は科
學物が中心で、宇宙の驚異、地球進化史、アインシュタイン等
無二の貴重なる學術映畫を始めとし、躍進日本の機械工業、
産業の一般を示せるもの七十三種百三十四巻あり、團體より
の希望には無料映寫の勞をとり、又特別の場合には館外出張

映寫にも應じる事
になつてゐる。又アマ
チュア一の爲めに動
植物採集指導、地學
野外見學旅行等を毎
月の如く催して、陳
列館内の足らざるを
補つてゐる。

斯くて不十分な
が、博物館機能の
發揮に努めつつある
も、規模尙小なると
經費僅少なる爲め、
一國の文運を一堂に
展開せるには未だ遠

科學博物館の使命に就て

く及ばず、社會の情勢に應ずるためには更に四千坪以上の陳列館を必要とするを以て、國費支辨不可能なれば、特志家の寄附に俟つ共、近く實現したいものと我等は不斷の努力を續けてゐる。又國際博物館としては海外各國の標本蒐集の要もあり、特に東洋諸國に係るものを網羅して、東洋の事は東京の科學博物館に行けば研究遺憾なし位のものになくはならぬ。是れが爲めには各地に蒐集網を張るは勿論、學術探險隊も屢々派遣せねばならぬ。

以上述べた所は本館の現状であるが、昭和六年開館以來入場者も年と共に増加し、昨年度は三十一萬五百九人に達し一日平均八百七十五人の割である。今茲に入場者を種類別に示して見ると左表の通りである。

開館 日數	大人	小人	天體觀 測者	有料 團體	無料 團體	定期 券	回数 券	優待 券	招待 券	合計
三、五、九、二、七、三、七、一、四、四、一、八、九、四、三、九、七、四、三、九、八、〇、三、三、六、〇、三、三、七、〇、四、三、〇、四、九、										

開館には觀覽者の便を圖り年中無休館とし入場料は不良入場者制限の意味にて僅に十錢を徴收するのみである。學校生徒工場等の爲めに定期團體券を、個人研究者の爲めに回数券を發行して、一人一回の料金を二錢内外に減額して汎く利用に便してゐる。遠隔にして常に入場するの不可能なる人々の爲めに、毎

月「自然科學と博物館」なる雜誌を發刊して、新着標本其他主要標本の解説を掲載し、無料にて配布してゐる。又各部門毎に陳列品の解説、新學說紹介のパンフレット等の發行も行つてゐる。終りに地方學校等にて修學旅行の際、本館を見學するプログラムを作製せらるる際は、少なく共二時間、出來得るならば半日位を茲に費すべく豫定せられたい。そして晝食は屋上にて東京全市を展望しつゝすませばよいのである。湯茶も無料で供給するし、又地下室の食堂には、是等團體の爲めに十五錢で辨當を差し上げる用意もある。(終り)



文部時報刊行計畫摘要

一 目的

本省行政ニ關スル法令並ニ諸般ノ施設事項ヲ周知セシムルト共ニ所管ノ行政及教育機關等ノ聯絡提携ニ便ナラシムルヲ以テ目的トス

二 内容

本時報登載事項ノ大要左ノ如シ

詔書

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

勅令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

訓令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

法令

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

任免、陞叙、叙勳

三 編纂

文部時報編纂ノ爲編纂委員長並編纂委員若干名ヲ置ク
編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

必要アルトキハ審査委員ノ意見ヲ求ムルコトアルベシ

資料蒐集

爲省内各局課ニ文部時報報告委員ヲ置ク
文部時報報告委員ハ各部局課ノ理事官、屬、囑託等ヲ以テ之ニ充ツ
必要ニ應ジ直轄各部、各府縣其ノ他ヨリ資料ヲ求ムルコトヲ得

四 發行

本時報ハ菊版、每號約六十四頁、定價金貳拾錢ヲ標準トシ毎月三
同一ノ日ヲ發行期日トス

定 價

部	金	貳拾錢	送料共
一ヶ月	金	六拾錢	送料共
六ヶ月	金	參圓六拾錢	送料共
一ケ年	金	七圓貳拾錢	送料共

表

●臨時増刊又は増大號發行の節は別に代金申受けます
●御註文は總て前金に願ひます前金切れの場合は送本いたしません
●廣告料は一頁五拾圓、二分ノ一頁參拾圓、四分ノ一頁拾八圓とす
●掲載頁數は壹部毎に拾參頁を越ゆることを得ず
●右文部省の御指定に依つたものとす

料告廣

昭和十一年七月 八 日印刷納本
昭和十一年七月 十一 日發行 (第五五五號)

禁 無 斷 轉 載

發行所 大 谷 仁 兵 衛
印刷者 大 庭 公 平
印刷所 行政學會印刷所第二工場
電話 年 込 二九九六番

發行所 帝國地方行政學會
東京市京橋區銀座西七丁目一番地
電話 銀座六六〇、六六一、六六二、六六三番
振替 貯金口座東京十三番